

7)みたけ・厨川地域

(1)まちづくりの目標と基本方針

①目標

**『守ろう緑と景観、
交流・協力・活用の輪でつくるまちづくり』**

②基本方針

i)豊かな自然とみんなで守る景観、安心・安全なまちづくり

厨川地域の北側には農林業関係の研究機関施設が広がり、豊かな自然が地域を取り囲むように残され、また、みたけ地域内には運動公園や緑道整備による緑があり、それらの内外の緑は地域住民の憩いの場となっています。地域を取り囲む緑は今後とも、関係者と連携しながら保全を図るとともに、地域内の緑道の整備促進により、地域の内外を結ぶ、緑のネットワークの形成をめざします。また、雄大な岩手山の景観は地域のシンボルとなっており、この景観を次の世代に守り残していくための取り組みを進めます。

みんなが安心して暮らせるよう、住民相互の助け合いの活動を広げるとともに、老人福祉施設や医療体制の充実を進めます。

また、安全なまちづくりをめざし、親水性に配慮した木賊川の河川改修や地域の防災拠点施設の整備を促進します。

ii)商・工・住のバランスのとれたまちづくりと交通ネットワークの形成

本地域は国道 4 号の沿道として発展した厨川地域と、工場等の企業誘致を行ってきたみたけ地域からなります。みたけの工業地域については、住居への土地利用の転換や商業施設の立地が進んでおり、活発な産業活動と快適な住民生活が共存できるよう、地域の中での話し合いをもとに、バランスのとれたまちづくりを促進します。

道路については、周辺幹線道路へのアクセス性を高めるため計画的な整備を進めます。公共交通については、厨川駅からの鉄道利用促進のため、東西の連絡と西側からのアクセス性を高めるとともに、電車とバスの連携向上やゾーンバスの工夫により、地域内の交通ネットワークの形成を図ります。

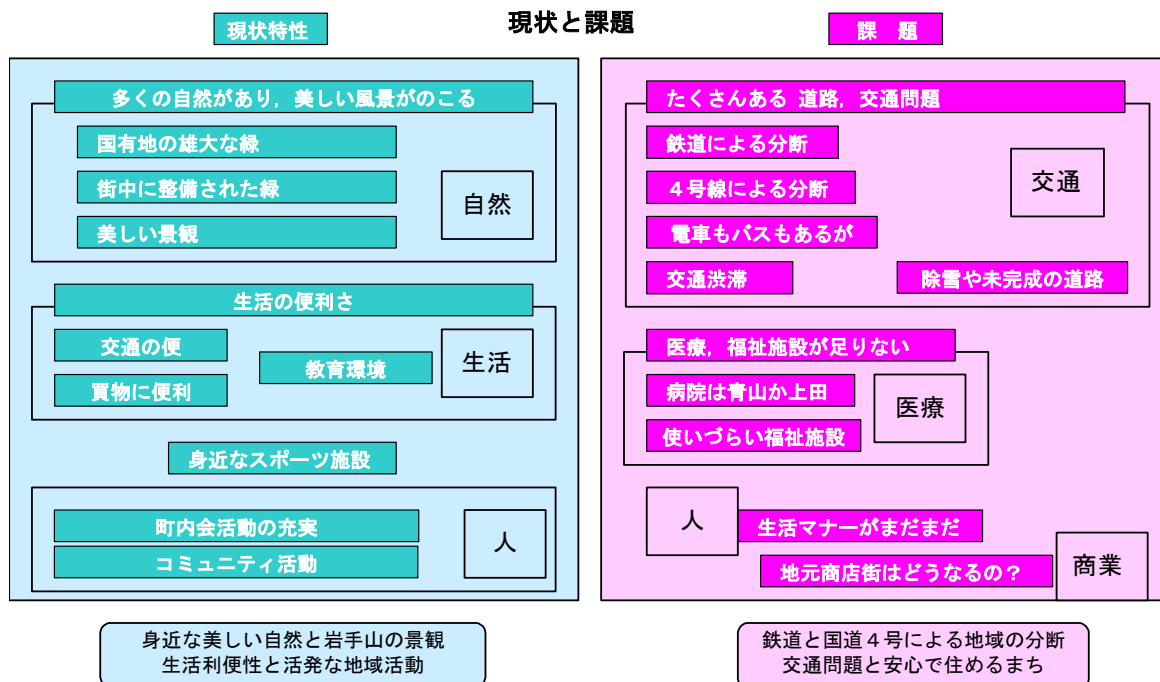
iii)地域の交流・協力でつくる地域連携の輪の形成

みたけ・厨川の両地域が抱える様々な課題を解決していくためには、課題を地域全体のものとして捉え、みんなで協力し取り組む人の輪が必要です。

既存施設の活用や機能の充実による、地域活動の拠点整備を進めながら、地域活動の活性化や、より多くの人々の参加を促進し、地域連携の輪を形成します。

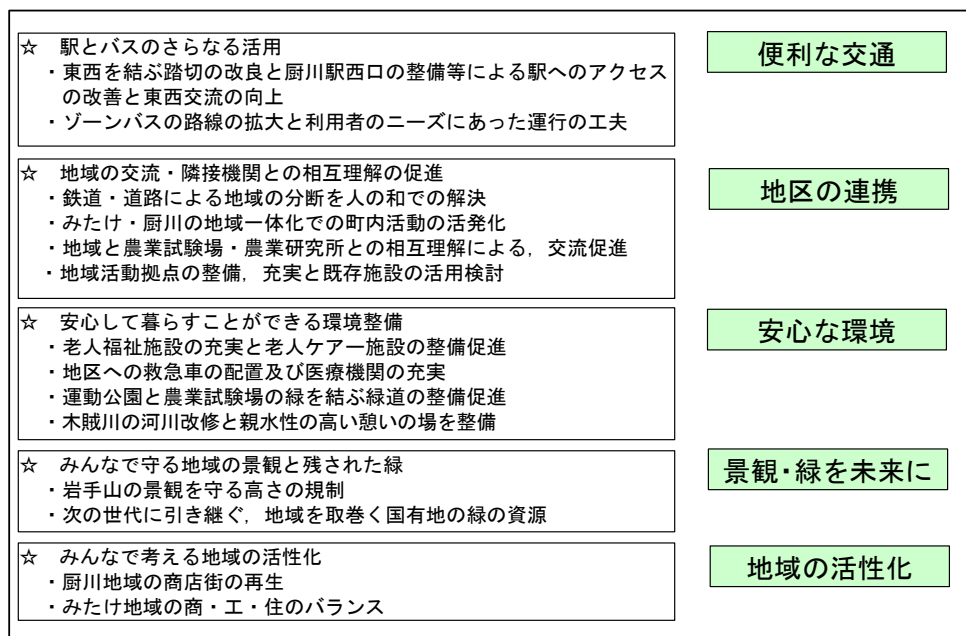
(2)まちづくりの方向性

ワークショップ、アンケート調査等の結果から、みたけ・厨川地域のまちづくりの方向性は次のようにまとめられます。



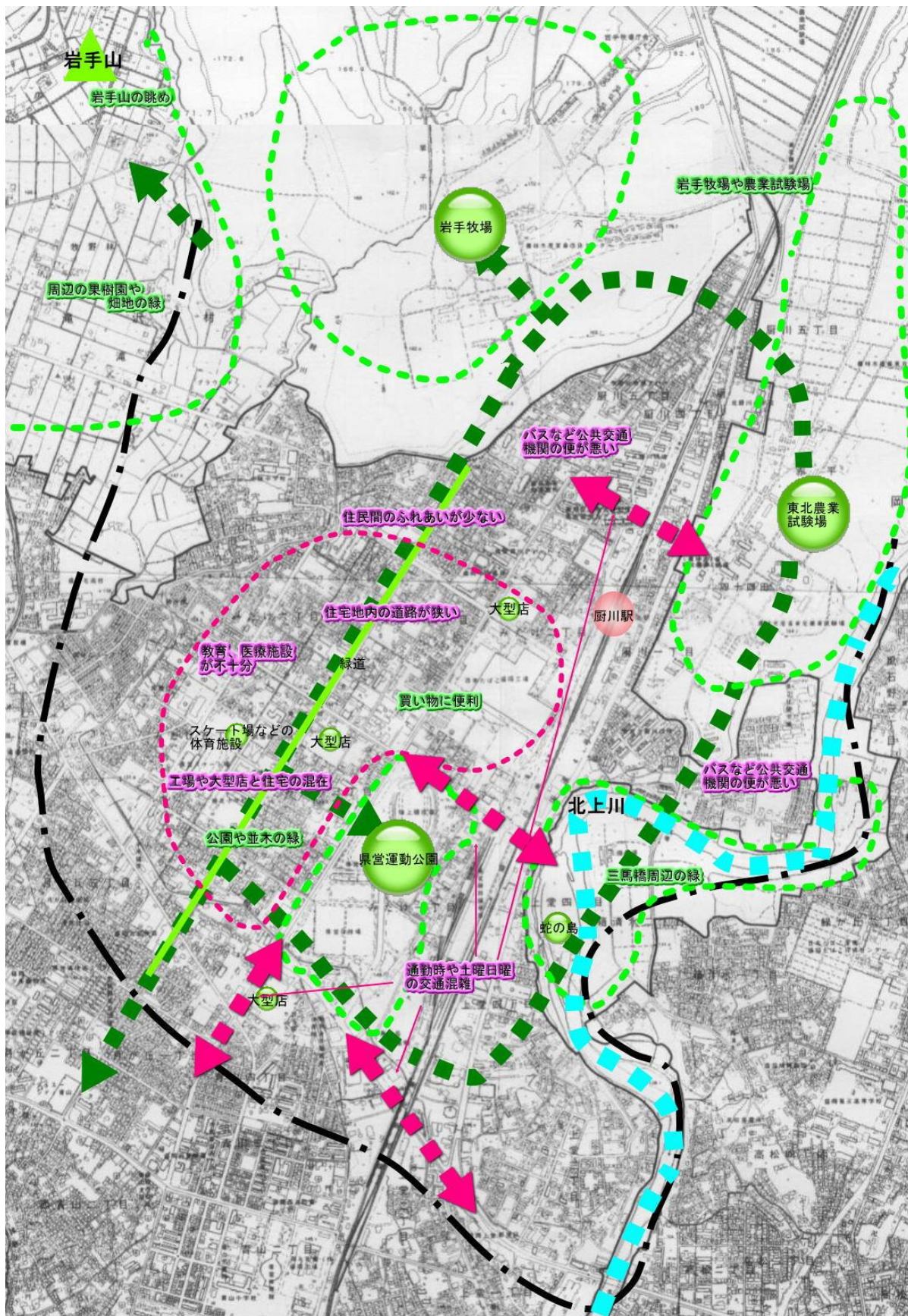
全体まとめ
「自然、緑に恵まれた環境と景観の保全、活用、
協力、交流による輪・環・和・話づくり」

まちづくりの方向性

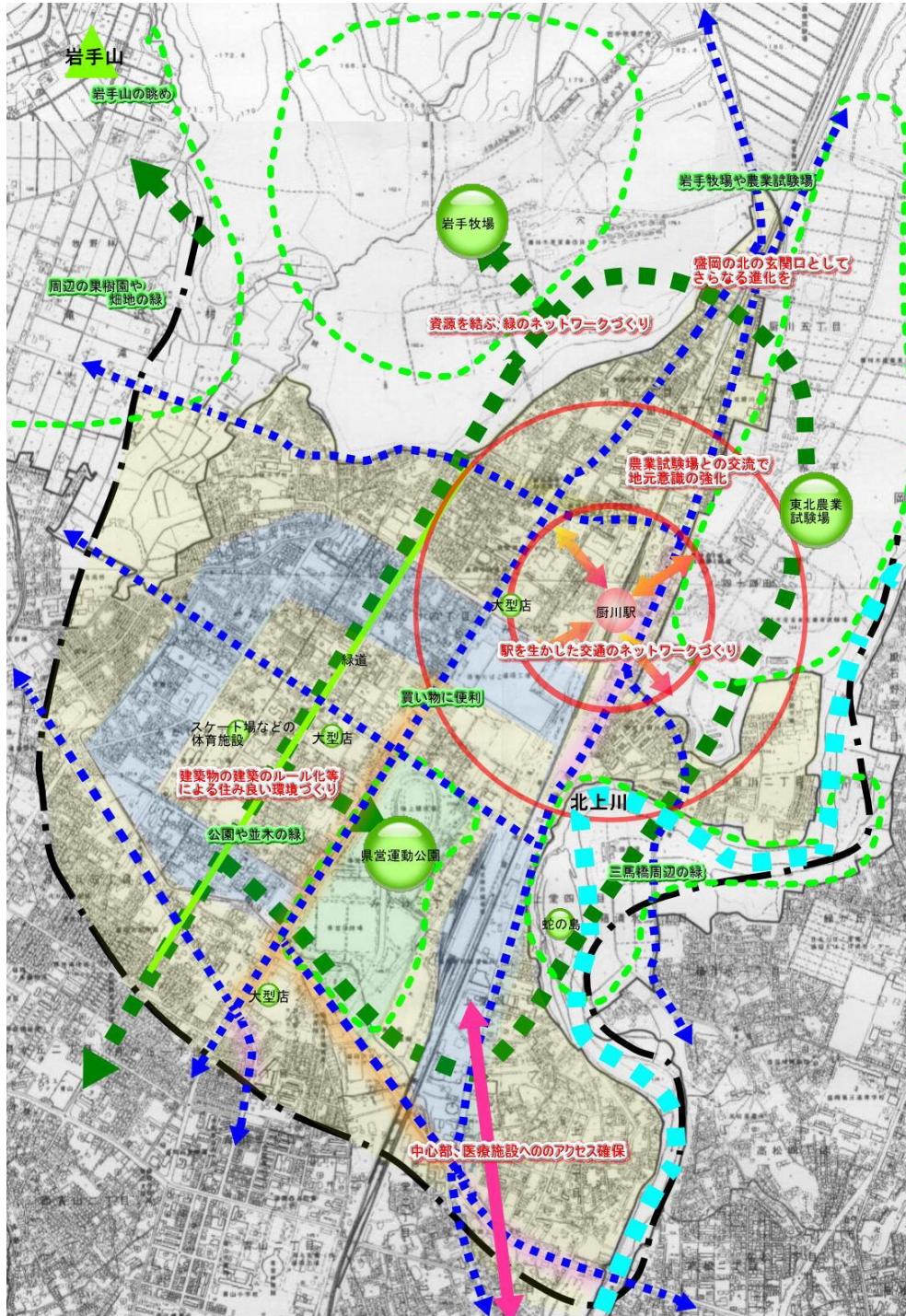


守ろう緑と景観、交流・協力・活用の輪でつくるまちづくり

地域の資源・課題マップ



まちづくりの方針マップ



みたけ・厨川ワークショップの様子

